

## マイクロ波映像で見る筑波学園都市近郊の土地被覆（２）

データ収集：独立行政法人・通信総合研究所

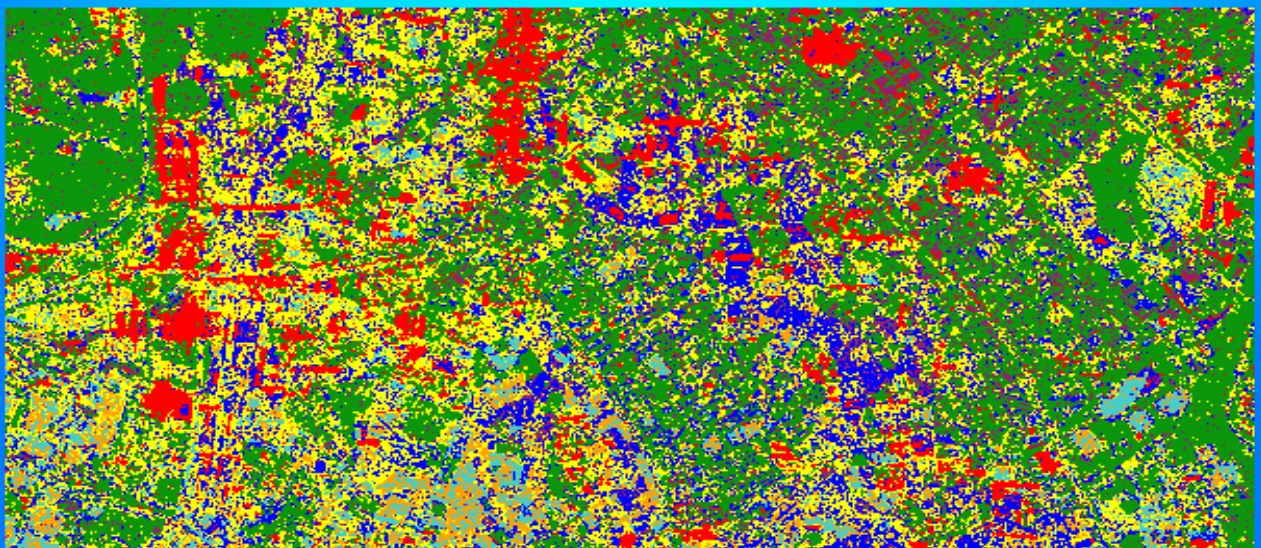
データ処理：東京理科大学・国土情報工学研究会

前掲の Xバンド Pi-SAR 画像と比較できるように、Lバンド Pi-SAR 画像（地上分解能：3m、観測波長：約 24cm）と、これを用いて作成された土地被覆分類図（下段）を掲載しました。Xバンド Pi-SAR データを用いた土地被覆分類図と比較して見ると、樹林や畑地の分類結果が異なっています。縮尺 1/25,000～1/50,000 程度の土地被覆分類図を作成したい場合に、Lバンドデータの使用が推奨できますが、利用目的に合わせてバンド別、偏波別に観測されるデータを使い分ける必要があります。地球観測データの種類が多様化する中において、データ利用者のための利用指針を整理していくことは、今後重要な課題となるはずです。

観測日：1997/9/30；Lバンド（地上分解能：3.0m）



Lバンドカラー合成画像（HH偏波；赤，HV偏波；緑，VV偏波；青）



土地被覆分類図

<凡例>

■ 畑地 1 ■ 畑地 2 ■ 水田 ■ 樹林 ■ 人口構造物 1 ■ 人口構造物 2 ■ 水域

© Communications Research Laboratory, 1997